

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：澤村・福間]

TEL：0853-22-6904

FAX：0853-24-3342

令和7年度 病害虫発生予察情報 特殊報第3号（新病害虫発生情報）

令和8年3月 3日
島根県病害虫防除所

本県において、果樹におけるチュウゴクアミガサハゴロモの発生が初めて確認されたので特殊報を発表します。

- 1 病害虫名 チュウゴクアミガサハゴロモ
- 2 学名 *Pochazia shantungensis*
- 3 作物名 ミカン、スモモ等の果樹類

4 発生確認の経緯

令和7年6月、県東部の果樹園において、チュウゴクアミガサハゴロモと疑われる成虫および幼虫を確認した。採集した成虫を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県で未発生であるチュウゴクアミガサハゴロモと同定された。

5 国内における発生状況

本種は令和8年3月3日現在、28都府県で特殊報が発表されている。

6 被害の特徴

- (1) 成虫、幼虫ともに枝を吸汁加害し、発生量が多いと糖分を含んだ排泄物により、すす病を生じさせる恐れがある。
- (2) 成虫が新梢等の直径 10mm 以下の細い枝や葉の葉脈部分に産卵管を差し込み、規則正しい列状に多数の卵を産み付ける。この際、産卵管が維管束を傷つけるため、伸長抑制や新梢枯死などの被害を生じさせる恐れがある。産卵痕は白い綿状の蠟物質で被覆されている（図1）。

7 形態及び生態

- (1) 本種成虫は黒褐色から茶褐色の蛾に似た形態をした体長 14~15mm のカメムシ目の昆虫で、前翅前縁中央部に三角形の白い斑紋を有する（図2）。
- (2) 幼虫は白色をしており、背中から腹部にかけて綿状の蠟物質の毛束を広げている（図3）。
- (3) 本種は広食性で、カバノキ科、クワ科、ブナ科、マメ科、モクセイ科、ツバキ科、バラ科、ツツジ科等の様々な植物に寄生する。

8 防除対策

- (1) 令和8年3月3日現在、対象作物において本種を対象とした薬剤は無い。
- (2) 産卵された枝は放置せず、地中深くに埋没、焼却処理を行うなど適切に処理する。
- (3) ほ場内をよく見回り、成虫や幼虫を確認したら速やかに捕殺する。

9 参考資料



図1 スモモ葉脈の産卵痕



図2 スモモ葉上の成虫



図3 ミカン葉上の幼虫